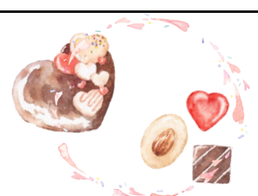
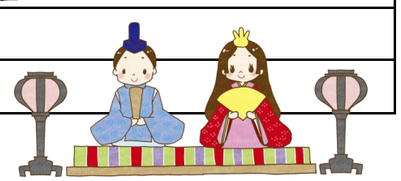
2月の講座予定

日	曜	講座名
1	木	
2	金	池田古文書解読・英会話
3	土	絵画・社交ダンス
4	日	
5	月	折り紙・手話学習
6	火	休館日
7	水	Kids English・フラダンス
8	木	いけ花・書道
9	金	英会話
10	土	木彫り・俳句・カラオケ
11	日	休館日（建国記念の日）
12	月	休館日（振替休日）
13	火	休館日
14	水	絵手紙・太極拳・出張型運転免許更新
15	木	素敵にソーイング・阿波おどり
16	金	英会話
17	土	絵画・俳句・社交ダンス・市民大学（総体）
18	日	
19	月	和紙ちぎり絵・シニアのためのスマホPC
20	火	休館日
21	水	健康と食事・きりえ・フラダンス
22	木	書道
23	金	休館日（天皇誕生日）
24	土	木彫り・公民館クラブ
25	日	
26	月	ディスコン・手話学習
27	火	休館日
28	水	太極拳・出張型運転免許更新
29	木	



3月の講座予定

日	曜	講座名
1	金	池田古文書解読・英会話
2	土	絵画・社交ダンス
3	日	
4	月	
5	火	休館日
6	水	きりえ・KidsEnglish・フラダンス
7	木	
8	金	英会話
9	土	木彫り・俳句・カラオケ
10	日	
11	月	折り紙・手話学習
12	火	休館日
13	水	絵手紙・太極拳・出張型運転免許更新
14	木	いけ花
15	金	英会話
16	土	絵画・俳句・社交ダンス
17	日	第2回 春の公民館まつり
18	月	和紙ちぎり絵・シニアのためのスマホPC
19	火	休館日
20	水	休館日（春分の日）
21	木	素敵にソーイング・阿波おどり
22	金	英会話
23	土	木彫り
24	日	
25	月	ディスコン・手話学習
26	火	休館日
27	水	太極拳・フラダンス・出張型運転免許更新
28	木	
29	金	英会話
30	土	
31	日	



コミュニティ新聞

～ひとづくり・つながりづくり・まちづくり～

ちゅうおうKominkan

三好市中央公民館
第26号
2024年2月1日発行
TEL 72−3700

新しい年を迎え気持ちも新たに過ごしていた元日の夕刻。思いもよらぬ能登半島地震が起こりました。
被害にあわれた方のお気持ちを考えると、胸が締め付けられる思いです。
この震災により、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りしますとともに、被災されました皆様の安全と、被災地の一日も早い復旧と復興を心よりお祈り申しあげます。
防災は日頃から備えることによって被害を減少することができます。ちゅうおうKominkan新聞では、毎号に「防災ワンポイント」を掲載しています。繰り返し読んでいただくことで万が一その場面に置かれたとき、一つでもお役に立てることができたら。という思いです。
今一度防災を自分事として捉え、ご家族皆さんで日頃の備えを見直していただきたいと思います。

第２回　春の公民館まつり開催決定！

中央公民館生涯学習講座の受講生の皆さんが、長年学習された成果を発表する場として、公民館まつりを行います。
久しぶりに開催される講座発表です。出演予定の皆さんは、昨年末から一生懸命練習されています。
出演講座以外の受講生の方もぜひご来場いただき、一緒に盛り上げていただけたら幸いです。
なお、当日は伝統文化親子教室によるお茶席もご用意しています。準備の都合上、事前に参加者数を把握したいと思いますのでご協力よろしくお願いいたします。
後日、各講座を通じてお申し込みください。

春の公民館まつり

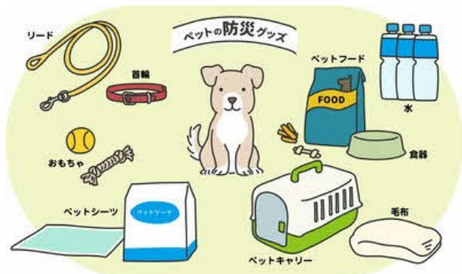
２０２４．３．１７（日）
１０：００～１２：００
会場：中央公民館　大ホール

手話学習・社交ダンス・太極拳
エアロビ池田・フラダンス
阿波おどり・ 木彫り・いけ花

防災ワンポイント

災害、あなたとペットは大丈夫？
災害は突然起こります。飼い主とペットが共に災害を乗り越えるためには、日頃からの備えが欠かせません。災害のとき、あなたとあなたの大事なペットを守るために、今、できることを考えてみましょう。

◇ペット用の避難用品や備蓄品の確保
【ペット用の備蓄品と、持ち出す際の優先順位の例】



優先順位１　**動物の健康や命に係わるもの**
□療法食、薬
□ペットフード、水（少なくとも５日分［できれば７日分以上］）
□キャリーバッグやケージ（猫や小動物には欠かせないアイテム）
□予備の首輪、リード（伸びないもの）
□ペットシーツ
□排泄物の処理用具
□トイレ用品（猫の場合は使い慣れた猫砂、または使用済猫砂の一部）
□食器

優先順位２　**情報**
□飼い主の連絡先と、ペットに関した飼い主以外の緊急連絡先・預け先などの情報
□ペットの写真（印刷物とともに携帯電話などに画像を保存することも有効）
□ワクチン接種状況、既往症、投薬中の薬情報、検査結果、健康状態、かかりつけの動物病院などの情報

優先順位３　**ペット用品**
□タオル、ブラシ
□ウェットタオルや清浄綿（目や耳の掃除など多用途に利用可能）
□ビニール袋（排泄物の処理など多用途に利用可能）
□お気に入りのおもちゃなど匂いがついた用品
□洗濯ネットなど（猫の場合は屋外診療・保護の際に有用）
□ガムテープやマジック（ケージの補修。段ボールを用いたハウス作り、動物情報の掲示など多用途に使用可能）

～環境省ホームページより抜粋～

2月
募集

手作りロングネックレス講座

天然石マザーオブパールを使った二連のネックレスを作ります。
普段使いにも、お出かけ時にもおしゃれでエレガントなデザインです。

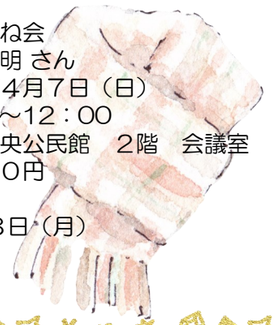
講　　師：Turning Point ﾀｰﾆﾝｸﾞ ﾎﾟｲﾝﾄ
　　大 西 晶 子 さん
日　　時：令和６年２月２４日（土）
　　10：00～12：00
場　　所：三好市中央公民館
　　２階　第１会議室
材 料 費：１，５００円
定　　員：６名
受付開始：１月１５日（月）

4月
募集

茜染めスカーフ講座

茜染め第２弾！今回は、素敵なシルク生地でスカーフを染めます。
春の装いにいかがですか？

講　　師：阿波あかね会
　　西 村 宏 明 さん
日　　時：令和６年４月７日（日）
　　10：00～12：00
場　　所：三好市中央公民館　２階　会議室
材 料 費：２，５００円
定　　員：１０名
受付開始：３月１８日（月）
準 備 物：エプロン



おしゃれなガーランド講座

１２月１６日（土）三豊市にお住いの渡邉みち代さんを講師に招き、生花を使ったガーランド（花や植物を使ったひも状の装飾品）を作りました。
　講師から、「材料を選ぶ楽しさ・組み合わせする楽しさ・創造する楽しさを感じて下さい」とのメッセージで見本どおりではなく、自分のセンスで作り上げました。
　また、花材もたくさんご用意くださりスワッグも教えていただき、参加者は講師からの思いがけないプレゼントに喜んでいらっしゃいました。
　「家が華やかになりました」「トイレの雰囲気が変わって素敵になりました」などの感想がたくさん寄せられました。

講師の渡邉みち代さん

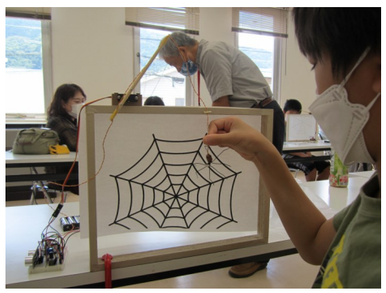
笑い文字の「辰」も飾りに入れました

第2回素敵ながまロポーチ講座

年明け早々の1月5日（金）前回大人気で受講生からのリクエスト講座となりました。
　講師は前回同様藍住町にお住いの山下由紀さんです。今回もかわいい北欧生地をたくさんご用意してくださり、生地選びからワクワクしました。
　作業工程がたくさんありましたが、丁寧にご指導くださり、丈夫でかわいいがまロポーチが完成しました。模様によって雰囲気が違ってきます。参加者の皆さんは、大満足で大切に持って帰られました。
　次回開催もリクエストいただいています。新規受講生を対象に５月頃を予定しています。まだ参加されたことのない方は、いかがでしょうか？

受講生の作品です
どれもかわいいですね

令和5年７月、公民館クラブ夏休み親子講座として「親子で作ろう電子工作講座」を開催しました。
　その時の作品を、徳島県小学生プログラミング大会に応募したところ、奨励賞を受賞しました。当日は、西井川小学校６年生の尾形愛守花（あすか）さんが代表として受賞式に参加してくださり、賞状と賞品をいただきました。
　ご指導くださった西村宏明講師さんに感謝いたしますとともに、公民館講座が子どもたちの自信となり、将来の夢につながるようなお手伝いが出来たら幸いです。



上　受賞作品（音がするとクモが上下に動きます）

左　賞状と尾形愛守花さん

～シリーズ　ジオパーク～

vol.6　自分とジオパーク2：タヌキ②

　こんにちは。ジオパーク推進室です。前回は、山城町におけるタヌキの役割を述べました。山城町では、不可解なこと、軽微な事件が起きた時に、タヌキのせいにして、急峻な山に点在する集落のコミュニティ維持をうまく行っていました。
　しかし、福井は思います。「なぜタヌキだけなのか？」と。日本にはタヌキの他にキツネに化かされた話もあります。ですので、以下のような仮説を立てました。
　「四国は本州から離れた島で、キツネが生息しておらず、タヌキのみ生息していた」
では、この仮説が合っているのかどうなのか、調べていきましょう。
　まず、昔話を一つ見つけることができました。空海が悪さばかりするキツネを追い出し、「本州と四国の間に鉄の橋がかかったなら帰ってきても良い」と言ったという内容の説話です。空海は774年～835年に存命だったそうなので、この話を信じるならば、1000年以上キツネが全然いない状況だったということになります。
　次に、四国のタヌキとキツネの生息数について調べてみました。表中の%は用意した調査地数に対して、生息が確認できた調査地の割合を示します。

徳島県	1970年～1979年	1996年～2002年	2010年～2021年
タヌキ	71%	92%	76%
キツネ	3%	50%	35%

　環境省の調査によると、徳島県のタヌキは1970年から現在まで多くの調査地点で生息しているようです。これより過去の資料で同様のものは未発見ですが、徳島では随分と長い間タヌキが身近な存在であることが窺えます。
　一方キツネに関しては、1970年～1979年の調査でなんと3%という数字です。調査方法などに差異があることも影響しているかもしれませんが、驚くべき低さです。戦前・戦後のキツネの生息数に関しては愛媛県総合科学博物館研究報告の中にその記述を発見できました（稲葉2018）。報告書の中には、四国には元々キツネの生息数が少ないこと、乱獲・農薬の影響・道路開発による生息域の分断などでさらに個体数が減っていったことが書かれていました。キツネは徳島の昔の人にとっては身近な存在ではなかったのです。現在は徳島県版レッドリストにも載っていないくらい、数が多くなってきているのですが。
　前回とまとめますと、

地球の動きにより急峻な山ができた
↓
タヌキが身近にたくさんいた一方で、キツネは少なく身近でなかった
↓
タヌキのみが話に取り上げられるようになり、タヌキの伝承が生まれていった

やましろ狸まつり風景

　山城町のタヌキ話はジオ（大地・地球）と深い関わりがあること、また、キツネでなくタヌキが扱われている理由を簡単に述べました。最初に立てた仮説はおおかた合っていると言えるでしょう。
　次回も別のテーマで、自分の興味のある分野での気づきが、ジオと関係するのか検証していきたいと思います。

参考文献：
稲葉正和（2018）過去の四国および愛媛県におけるホンドギツネ*Vulpes vulpes japonica*の生息記録. 愛媛県総合博物館研究報告, 23:57-69
環境省自然環境局生物多様性センター（2022）令和 3 年度(2021年度) 中大型哺乳類分布調査 調査報告書 タヌキ・キツネ・アナグマ